

日本の地名を調べる

参考図書 (reference book) とは

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典・辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。



『角川日本地名大辞典』

「角川日本地名大辞典」編纂委員会編 角川書店 1978-1990年 全49巻

都道府県別に各1~2冊、別巻2巻(別巻1「日本地名資料集成」、別巻2「日本地名総覧」となっています。別巻を除く各巻は、総説、地名編、地誌編、資料編で構成されています。

地名編は、歴史的行政地名、自然地名、人文地名等に分けて書かれ、地名の由来等も調べることができます。地誌編では、各地域の地方史も調べられますが、出版年時点での行政区分に従って分けられているため、最新の情報については別の資料を確認する必要があります。資料編には、こあさ小字一覧、地名資料解説が載っています。

別巻2には総索引があり、地名からどの巻に掲載されているかが分かります。また、画数順の難読地名一覧も載っているので、読み方がわからなくても漢字から調べることができます。

当館では『新編角川日本地名大辞典』(2011)がデータベース端末で利用できます。こちらをご利用の際には、職員におたずねください。

『日本歴史地名大系』

平凡社 1979-2005年 全49巻

都道府県ごとに在地の専門研究者に委嘱し作成された歴史地名辞典です。都道府県別に各1~2巻、索引が2巻あります。索引を除く各巻は、地域項目編、文献解題、行政区画変遷・石高一覧、索引で構成されています。排列は地域ごとになっていますが、各巻にある索引では五十音順でひくことができ、難読地名一覧もついています。地名の歴史について詳しく調べることができます。

『新訂 全国地名駅名よみかた辞典』

日外アソシエーツ 2006年

全国の地名駅名の読み方が調べられます。平成の市町村大合併に対応した内容になっています。総画数部首順に排列しており、漢字の画数でひくために、頭字音訓ガイドと検字表がついています。

『全訂 全国市町村名変遷総覧』

日本加除出版 2006年

全国の市町村名がどのように変わってきたかを都道府県別に掲載しています。新旧市町村対照表では、現在の市町村が元はどんな地名だったかを調べることができます。

『角川日本地名大辞典』で調べてみました！

問① 神戸市立中央図書館がある「大倉山」という地名は、古くは「大倉山」と「大蔵山」どちらの表記だったの？

答 「近世には安養寺山といい、明治 12 年から大倉山と呼ばれるようになった」とあり、「大倉山」が正しいです。

この項には、安養寺山の由来や、大倉山の名前の元となった大倉喜八郎が別荘を建て、明治 43 年に公園設置を条件に神戸市に寄贈したことなども載っています。

(「28 兵庫県」【大倉山】)

問② 漫画家の水木しげるは、かつて神戸に住んでいたころの住所である「水木通」をとってペンネームにしたと聞いたが、「水木通」そのものの由来が知りたい。

答 「水木は湿地に生えるかつようじゅ闊葉樹で、地名はこの樹の生息する地を意味したという(西摂大観)」とあり、この地に生息していた樹木の名前が町名の由来です。

(「28 兵庫県」【水木通】)

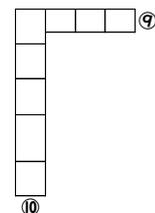
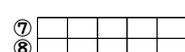
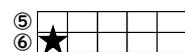
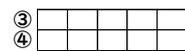
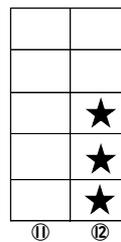
調べてみよう！

- * 兵庫県の地名、読めますか？ 【宍粟】【粟生】【神出町紫合】
- * 中央図書館がある中央区楠町の町名の由来は？
- * 祖父が昔住んでいた住所が今は見当たらない。現在は、どこになるのだろう。

まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう！

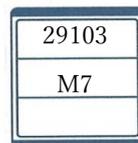
上記の参考図書はこちら→

中央図書館 3階



図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類ラベルが貼ってあります。

地名のことは【29103】を探してみてください。



カウンター

わからないことがあれば、何でもお気軽に図書館員におたずねください。